



四小だより



連雀学園三鷹市立第四小学校



ホームページ 四小 <http://www.mitaka-schools.jp/yonsyo-es/index.html>
 夢支援ネットワーク <http://muiku.info>
 四小メールアドレス 04-no4@ms.mitaka.ed.jp
 四小教育相談室（直通） 0422-48-9102

2月号

「アンガーマネジメント」

副校長 三橋 智子

先日の道徳授業地区公開講座では、授業参観と講座へのご参加をいただき、ありがとうございました。いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただいていること、この場をお借りしまして、改めてお礼を申し上げます。

さて、4校時にはアンガーマネジメントファシリテーターの小尻美奈講師をお迎えして、「親子の信頼関係を育むアンガーマネジメント」と題して、講演会を行いました。参加者の皆様と和気あいあいと学びを繰り広げることとなりました。



アンガーマネジメントと聞くと、叱らないトレーニングではとか、怒りを無くして怒らないようにするための内容だろうと思われるかもしれませんが。最初の説明で「怒り」は、無くすことはできない本来人間にあって当然のもので、アンガーマネジメントとは怒りの感情と上手に付き合うためのトレーニングなのだとお話がありました。怒る必要があることなのかの線引きができるようになること、怒りに振り回されず上手に怒りを表現すること等、上手に怒ることができるためのヒントをたくさんいただきました。

参加した皆さんで普段の叱った体験を振り返ってみました。怒りの正体は「誰か」でも「出来事」でもなく、「～は、こうある『べき』」という自分の考えが、目の前で裏切られるから怒りになるということが分かりました。しかし、同じ人でもこの「べき」が日によってあるいは場合によって違ってくる場合があります。それをライターに例えて話がありました。ライターの着火スイッチが自分の考える「べき」であり、燃料はそのときに抱えていたマイナスの感情やマイナスの身体の状態です。自分がどんな「べき」をもっているのか認識するとともに、その子の要求や感情として何があるのか受け止めて理解することで、炎が治まり親子間に安心感が生まれ、信頼関係が育っていきます。また、怒りの感情が起こったときには6秒待つと衝動のコントロールができるようになることや、悪い叱り方の例として、過去をもち出す言葉・責める言葉・強い言葉（いつも・絶対・必ず等）・程度言葉（ちゃんと・しっかり・きちんと等）があることも分かりました。更に参加者の皆さんで、どう言ったらよいのかを具体的に考えることもできました。

道徳や親子関係に関する本や情報はたくさんありますが、こうしてお話を聞きながら実際に自分を振り返り、考えてみて初めて分かることや納得することがあると感じました。保護者の皆さんの日々の悩みに役立つよう、心の教育に関してもっとこんな内容で講座を開いてほしいというご要望がありましたら、ぜひ「校支援」でお送りしているアンケートでお送りいただければと思っています。

■第四小学校では、ハラスメント防止窓口を以下のように定めてハラスメントの防止に努めていきます。

副校長 主幹教諭

理科室の生きものたち

理科では、各学年で生きものに関する学習があります。理科室でもメダカや金魚などを飼っており、子どもたちが生きものを観察できるようになっています。ウサギのラテもいます。

金魚はのんびり水の中を泳いでおり、それを見ていると、ゆったりとした気持ちになることがあります。気付くと、じっと食い入るように金魚を見つめている子どもの姿があります。

ただ、金魚もメダカも温度管理から、水のようにすなど、飼育する上で気にしなくてはならないことがたくさんあります。みんなに手伝ってもらいながら、生きものが元気で過ごせるようにしています。

植物も、この冬の寒さの中でも、少しずつ球根から目を出して春の予感を少しずつ感じさせてくれます。そのためにも毎日の水やりは欠かせません。

生きものと触れ合うことは、大人にとっても大事ですし、子どもにとってもさまざまな気付きにつながるすてきな機会になると思います。そのような場面を学校でもたくさん用意していきたいと思います。

理科担当

もうすぐバトンタッチ！！

～5・6年生のたてわり班活動の引継ぎ～

1年生～6年生の異学年集団による活動「たてわり班活動」を行っています。この縦割り班活動は、毎回6年生が縦割り班長会議を開いて事前に遊びを考え、実施しています。先日、1月31日の縦割り班活動に向けての班長会を行いました。今回の班長会には5年生も参加し、どのような流れで活動を行っているのか、どんな仕事をしているのか、6年生に教えてもらい、一緒に考えながら、参加しました。限られた時間の中、6年生がノートを見せながら、自分の仕事を細かく説明している姿は、さすが6年生！と思えるものでした。

3学期には、拡大縦割り班遊び「たてわりデラックス」を行います。また、最後の縦割り班活動は、6年生に対するありがとうの会も兼ねており、5年生がリーダーとなって企画・実施します。みんな、6年生に感謝の気持ちを伝える時間にしたいと思っています。

特活担当

2年 生活科

HP

～これまでのわたし これからのわたし～

2年生は、1学期に「学校たんけん」、2学期に「町たんけん」を行いました。3学期は、2年間の生活科の総まとめとして、「自分たんけん」に取り組んでいます。「自分たんけん」では、友達同士で相手の良さを伝え合ったり、関わりのある人にインタビューをしたりすることを通して、自分のこれまでの成長を振り返ります。「自分が大きくなったこと」、「自分でできるようになったこと」、「役割が増えたこと」など、自分の成長をうれしく、誇らしげに語る姿は、とても微笑ましいです。今後は、2年生の保護者の皆様にもご協力をいただきながら、「自分ものがたり」として、自分の成長についてまとめていきます。子どもたちには、自分を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、自分のよさや可能性に気付いてほしいと願っています。3年生以降の学びや成長に期待をもつことができるようにしていきたいと思っています。

(文責 2年担任)

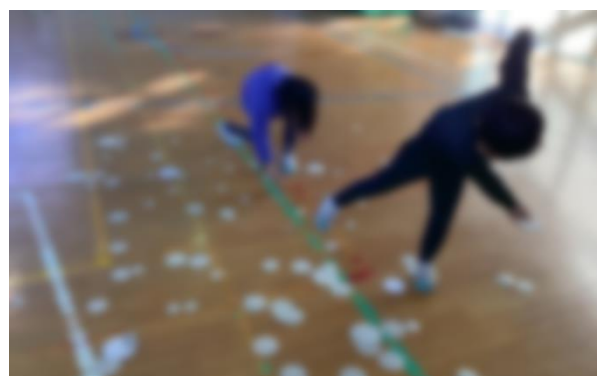
1年 生活科

HP

～ふゆとなかよし むかしあそびたいけん～

1年生は、「ふゆとなかよし」の単元で昔遊びをしました。こま、めんこ、あやとり、おはじき、お手玉、竹とんぼ、羽根つき、けん玉など、さまざまな遊びを体験しました。初めてやる遊びもあり、なかなかできないこともありましたが、何回もチャレンジしていく中でできるようになったとき、子どもたちの素敵な笑顔が見られました。ご家庭でも伝承遊びのおもちゃがありましたら、ぜひお子さまと一緒に楽しんでみてください。

(文責 1年担任)



給食費の口座振替について

2月29日(木)は今年度最後の給食費の口座振替日です。前日(28日(水))までに口座の残金のご確認をお願いします。

(学級閉鎖等で返金が生じた場合は、今回の口座振替時に清算された額が引き落とされます。)

1月のできごと

1月10日「豊かな心を育むプロジェクト」

体育館にパーカッションオーケストラの楽団をお招きして、全校児童が豊かな音楽を楽しむことができました。パーカッションだけのオーケストラにはなかなか接する機会がありませんが、間近に何本ものばちが素晴らしい速さで動く様子を見たり、自分の身体に響いてくる音を感じた貴重な時間となりました。また、世界の打楽器文化についてのレクチャーもあり勉強になりました。パーカッションで演奏される「校歌」に合わせて全校児童の歌声が響きました。



児童の感想を一部ご紹介いたします

ばち・木琴の中にも種類があると知りました。木琴をひくときに、ばちを2本持ちしているときもあると分かりました。和太鼓の音が阿波踊りに出てくる音と似ている感じがしました。木琴と鉄琴のなめらかな音が重なると一気に音が重くなって、心に響きました。ひいているとき、みなさん真剣でしたが、笑顔で楽しいのが伝わりました。家に帰るとばちが200～300本あると言っていて驚きました。

アフリカでは打楽器を使ってコミュニケーションを取っていたことや、木の皮や木の実を使った打楽器があることを知って、昔の人々にとって楽器はとても身近なものだったのだと思った。鉄琴や木琴が演奏に加わると、一気に曲の世界観が伝わってきた。それぞれの打楽器に曲の感じを表現する役割があった。

1月15日指導課訪問・研究授業

教育委員会から指導課の方々が全ての学級の授業を参観し、5年2組での研究授業の後、全教員と協議会を行いました。

大谷翔平選手のグローブが届きました

全学級をまわり、子どもたちの手に触れました。今後いろいろな場で使っていきます。

